



# 12月園だより

令和5年12月1日  
目黒区立原町保育園園長

街の木々や風景がすっかり冬支度に入りました。陽だまりの暖かさが心地よく感じられる季節ですね。子どもたちも、散歩に行く前はしっかりと準備体操をして体を温めてから出発しています。0歳児クラスの子どもたちも歩ける距離が長くなり、歩くことを楽しんでいるようです。公園から戻った子どもたちの笑顔と「ただいま～」という元気な声を聞くと、元気に楽しんできた様子が伝わってくると同時に、事故なく戻ってくれたことにホッと胸をなでおろす日々です。

先月、くすのき組の子どもたちがひもんや警察署の警察官から交通安全について学びました。毎年幼児クラスの子どもたちを対象に、横断歩道の渡り方や道路の歩き方を学んでいますが、今年は年長児を対象に町のジオラマと人形を用いて、クイズ形式で交通ルールを学びました。町なかに潜む危険箇所や歩き方について、一人ひとりがよく考えて答えていました。師走に入り、ますます気ぜわしくなる時期です。特に園舎前の道路は一方通行ではありますが、車やバイク、自転車が多く通ります。また、曲がり角が多いこともあり、事故に繋がりやすい道路です。目黒区内の道路の平均幅は23区中22位と、圧倒的に狭い統計も出ています。また、事故原因の第1位は「子どもの飛び出し」そして小学1年生の事故が多いという分析結果があり、年長児はこれから一人で行動することが増えてくることから、日ごろからご家族でも交通ルールについてあらためてお子さんと話せるとよいですね。

あとひと月で今年も終わります。年の瀬が近づくにつれ、忙しさも増してきます。子どもにも「早く、早くして」という言葉が出てしまいがちですが、そんなときこそ「ふう～」とひとつ大きく深呼吸をして心を落ち着かせたいですね。「忙しい」という字は「心が亡ぶ」と書きます。まずは大人である私たちが心にゆとりを持って過ごし、子どもたち一人ひとりにしっかりと向き合っていきたいと思います。



- 🔔 のびよう会  
3. 4. 5歳児クラス
- 🔔 身体計測・避難訓練



- ☆ 園舎の外壁塗装工事が入っています。足場を組んでの作業となります。ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。
- ☆ 12月29日(水)～1月3日(水)は保育園は休みです。

「オーライ！

オーライ！

オーライ！」

廊下に給食のワゴンが見えると声を掛けて誘導してくれます。給食を楽しみにしている子どもたちです。

(2歳児クラス)



子「早く小学校いきたいな」  
保「たのしみだね。私も行きたい」  
子「あのね。」

けっこうオバサンもいるから  
だいじょうぶだよ

(4歳児クラス)



## ～おさんぽ楽しいな～



### 「 “楽しい” 見つけた 」 かえで組（0歳児クラス）

かくれんぼをすると「ばあ」「キャッキャッ」と楽しさいっぱいの笑い声が公園に響きます。遊具につかまって顔を出したり引っ込めたり、保育士と同じタイミングで顔を出す度に笑い声が一層大きくなります。ハイハイの姿からその場で立ち上がったり、一歩二歩…と歩きたい気持ちも出てきています。「おいでー」と少し離れた所から手を振ると、嬉しそうにハイハイや小走りのように歩いて保育士の元に向かってくる様子がとても可愛いです。

散歩の道中では風が吹くと驚いて目を細め、犬や花を見つけては笑顔になり、近隣の方に声を掛けられてはお辞儀をしたり、人見知りしたりと刺激がいっぱいです。保育士と一緒に広い場所で体を動かして遊び、子どもたちの発見を言葉にしながらくさんの「楽しい」を見つけていきたいです。



### 「 元気いっぱい走ろう 」 くるみ組（1歳児クラス）

バギーに乗って散歩に出かけることが増えてきました。散歩中の犬を見かけると「ワンちゃんバイバイ」と声をかけたり、ショベルカーやごみ収集車を見つけると「あっ！いた」と嬉しそうに作業の様子を眺めています。柿やミカンなどの果物も「黄色くなったね」「おいしそう」となっている場所を覚えていて、楽しみにしています。

公園に着くとバギーから早く降りたくて急かされます。広いところでは自然と足取りが軽くなり、トコトコヨチヨチだった子も歩みが安定してきました。月齢の高い子どもたちは走る速度が上がり大人も負けじと走らなければなりません。「よーいどん」「マテマテ～」と逃げたり追いかけたり、木の後ろや滑り台に隠れて「ばあ」と驚かせたり、走ってきて保育士にギュッとしがみついたり、抱っこでぐるっと回ったりと、み～んな笑顔です。



### 「 どんぐりあったよー 」 いちょう組（2歳児クラス）

朝、「今日はどこに行くの？」と保育士に聞き、散歩に行くとなると「やったー」と散歩を楽しみにする子どもたちです。友達と手を繋いで、お喋りも楽しみながら公園まで歩いて行きます。林試の森に着くと、「どんぐりどこかな？」とキョロキョロ。落ち葉をかき分けてどんぐりを見つけると「あったよー」と嬉しそうに教えてくれます。それを聞いた友達も「どこにあったの？」と集まってきて「ここだよ、ほら！」と一緒にどんぐり探しが始まります。どんぐりだけではなく松ぼっくりも見つかり、松ぼっくりを上から見てみると「お花みたい」とニッコリ。帰るときには両手から溢れるほどたくさんのどんぐりが見つかりました。園に帰りながら「楽しかったね」「また行きたいね」と保育士や友達と話して、次の散歩を楽しみにしています。これからも保育士や友達といろいろな発見を楽しみながら、探索遊びの面白さを感じられるようにしていきたいと思います。

